

第 14 回 上川流域協議会 要旨

日時:平成 17 年 2 月 17 日(木) 18:30 ~ 21:00

場所:長野県諏訪合同庁舎 5 階 講堂

議 事 内 容

- (1) 河川整備計画の進捗状況について
- (2) 各ワーキンググループからの報告
- (3) 河川維持工事について
- (4) 講演会またはシンポジウムの開催検討について(ダム跡地 WG より)
- (5) 上川における活動について
(河口部のヨシ焼き・住民協働による支障木伐採)

決 定 事 項

- ・ ダム跡地 WG から提案のあった講演会またはシンポジウムの開催については、流域協議会として開催する。全体会議が開催できればその場で報告を行うが、開催できない場合は内容等について WG 運営委員会に一任とする。
- ・ 流域の開発問題については、協議会としても関心を持って臨んでいく。必要があれば今後 WG 及び WG 運営委員会で問題点を議論していく。

【配付資料】

第 13 回上川流域協議会要旨(案)	資料-1
ワーキンググループからの報告	資料-2
諏訪管内の河川維持工事箇所について	資料-3
住民協働による上川の支障木伐採について	資料-4

議 事 要 旨

◆河川整備計画の進捗状況について(事務局説明)

諏訪建域河川整備計画については平成 16 年(2004 年)12 月 24 日に国土交通省に申請を行った。現在審査中。認可予定についての情報は今のところ無い。(諏訪建)

◆各ワーキンググループからの経過報告

上流域

- ・ 上流域は広大な面積があり、上流部まで調査できていない。今後渋川の温泉、白樺湖、角名川の別荘地上程度は見ておきたい。
- ・ 河道内遊水池にできるのではないかとと思われる箇所が数箇所あり、今後更に検討したい。
- ・ 緊急に維持工事が必要な箇所は本川にはあまり無く、支流角名川の水神地籍や折橋付近が危険。今回一部で維持工事が予定されているので、第一段階としては OK。
- ・ 柳川に古い砂防堰堤があり、ほとんど埋まっている。このあたりの調査も中流域 WG と一緒に行いたい。

中流域

- ・ 前回協議会以降会議は開いていない。
- ・ 当面の維持管理の問題に関し、栗沢橋上や柳川合流部がきれいに整理され、川らしい川になった。住民からも好評を得ている。
- ・ 柳川上流や横河川の現地調査がまだだが、冬を越さないといけない。
- ・ 栗沢～鬼場付近でヨシ原の試験をしたかどうかという意見がある。ヨシ原の見学もしたいがまだ実現していない。
- ・ 支流に関して、宮川もかなり河川維持工事が行われたので現場を見てみたい。

下流域

- ・ 10月以降中断している。WGで出された意見は概ね原案に盛り込まれたと認識している。
- ・ 検討すべき課題としては、残っているものが多い。
- ・ 河川維持工事については地元で好評を以って迎えられている。
- ・ 今後中流域とも協力して現地調査。検討をしていきたい。

基本高水

- ・ 事務局からの資料を基に基本高水の算出過程について学習を行っている。

水田貯留

- ・ 現在資料を基に学習中。出席率がやや悪く、ご協力をお願いしたい。
- ・ ご提案があれば出していただけるとありがたい。

ダム跡地

- ・ アンケートのような形でメンバー全員に提案を求めた。これを基に、1月18日の会議では以下の3点に意見集約した。
 1. ダム跡地を抱える八ヶ岳山麓を含む緑のダムとしての構想
 2. 今の跡地については、できるだけ早く下草刈り等の整備を行う
 3. 講演会またはシンポジウムを開催する河川整備計画の認可を受けた後、地元の意見を聞きながら進めていきたい。
- ・ ダム跡地WGから提案のあった講演会またはシンポジウムについては、WGとして強い要望があれば流域協議会として開催したい。講演会までに流域協議会（全体会議）が開かれればそこでご報告するが、開かれない場合にはその内容等について運営委員会に一任願いたい（座長）
了解（一同）

◆河川維持工事について（配布資料により事務局より説明）

異議なし

◆上川における活動について（事務局より説明）

- ・ 上川の最下流部、六斗橋～河口の右岸で3月中に計画しているヨシ焼きについて説明（上川整備促進連絡協議会）
- ・ やすらぎ橋下流左岸で、3月10日に住民協働により支障木伐採作業を行う。参加ご希望があれば建設事務所まで。（事務局）

◆その他

ダム跡地周辺の開発について

- ・ 跡地周辺(上部)に開発業者による開発計画がある。ダム跡地の 5~6 倍の面積を別荘として分譲するというもの。流域協議会としての守備範囲がどこまでなのかという問題はあるが、周辺のことを無視して跡地だけを議論するわけにはいかない。
- ・ 開発によりダム跡地の周囲を囲まれてしまうことになる。跡地だけでなく、面的に考えていかななくてはならない。また茅野市の水道水源は開発による汚染が進み、このままでは水源をボーリングに頼らなくてはならなくなる。
開発規制に関しては部会報告にも言及されている。そこまで踏み込まなければ総合治水にならない。
- ・ 河川改修についてはこれまで議論されてきたが、流出抑制対策がまだ議論されていない。流域の開発についても今後検討していくべき。
- ・ 周辺開発については大きな問題であり、流域協議会として関心を持って臨んでいきたい。必要に応じ WG 及び WG 運営委員会で問題点を論議していくという扱いでどうか。(座長)
異議なし(一同)

現在の橋梁の耐震強度について、現状と対策はどうなっているか。

緊急輸送路に指定されている路線の橋梁に関しては資料があるため、必要があれば資料を準備する(事務局)

ワーキンググループの開催日程について

現在平日の昼間に行われていることが多いが、勤めていて出席できない。開催時間はできれば夜にして欲しい。

各WG共、開催時間の決定はメンバーの都合に配慮して決定して下さい。(座長)

水田貯留WGの次回予定について

準備不足のため、次回予定されていた 22 日の会議は延期したい。(グループ長)
了承。

以上